

一般社団法人日本解剖学会 2019年(令和元年)度第4回常務理事会議事録

日時：令和元年6月9日（日）13:00～16:00

場所：一般財団法人口腔保健協会3階 302会議室

出席者：八木沼 洋行（理事長）、渡辺 雅彦、西 真弓、野田 泰子、牛木 辰男（以上、常務理事）、松崎 利行、阪上 洋行（以上、常任幹事）、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の議事録（案）について確認された。

- (1) 2018年(平成31年)度第2回常務理事会（平成31年3月26日開催）議事録（案）
- (2) 2018年(平成31年)度第5回理事会（平成31年3月26日開催）議事録（案）
- (3) 2018年(平成31年)度定時社員総会（平成31年3月27日開催）議事録（案）
- (4) 2018年(平成31年)度第6回理事会（平成31年3月27日開催）議事録（案）
- (5) 2018年(平成31年)度第3回常務理事会（平成31年3月28日開催）議事録（案）
- (6) 2018年(平成31年)度第7回理事会（平成31年3月28日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

平成31年3月分

入会者 正会員 4名、学生 5名

退会者 正会員 16名、学生 1名、永年会員 1名

平成31年4月分

入会者 正会員 2名、学生 3名

退会者 正会員 12名、名誉会員 1名

逝去会員

生駒 榮喜 氏（和歌山県立医科大学・名誉教授／名誉会員）平成28年11月8日逝去（満91歳）

高橋 将人 氏（東京医科歯科大学・博士課程大学院生／正会員）平成31年4月2日逝去（満27歳）

濱 清 氏（東京大学・名誉教授、岡崎国立共同研究機構生理学研究所・名誉教授、総合研究大学院大学・名誉教授／名誉会員）令和元年5月21日逝去（満96歳）

新規就任教授

高橋 和男 先生（藤田医大・医・解剖学Ⅱ・教授 令和元年5月1日就任）

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①通知・依頼：日本医学会より「平成30年度日本医学会新規加盟学会について」他65件

②書籍・定期通信 他：中日友好医院より「中日友好医院学報Vol. 32. No. 1～6」他18件

(3) 令和元年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき、令和元年度支部学術集会開催予定について報告があった。

(4) 各種委員会報告について

資料（第124回全国学術集会時の委員会メモならびに各委員会議事録）に基づき、各種委員会の報告があった。

(5) 男女共同参画推進委員会より（ランチョンセミナーアンケート結果ほか）

資料に基づき、第124回全国学術集会時のランチョンセミナーアンケート集計結果について報告があった。結果は、学会ホームページで学会員のみがダウンロードできるようにすることとした。

(6) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会 第17期 第2回運営委員会 議事録(案)について報告があった。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、2019年5月27日にASI Vol. 94-No. 3が発送されたことが報告された。今後は2019年9月に解剖学雑誌1号とASI Vol. 94-No. 4が発刊予定である。

(2) ASIにおけるLicense to Publish (LTP) への移行について

資料に基づき、シュプリンガーよりASI編集委員長宛てに、ASIにおけるLicense to Publish (LTP) への移行についての提案があったことが説明された。著作権が学会から著者へ移行するもので、著者は、自身の論文の図表であれば、他の出版物に自由に転載できるようになる。常務理事会では問題ないとの見解で、ASI編集委員長へ伝えることとした。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 令和元年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、令和元年度奨励賞の募集が9月30日必着締め切りで、認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集が10月31日必着締め切りで、それぞれ募集を開始したことが報告された。

(2) 令和元年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、令和元年度認定一級技術者資格試験の出願を6月28日必着締め切りで開始したことが報告された。試験は9月14日に実施予定である。

(3) 第124回日本解剖学会総会・全国学術集会アンケート集計結果について

資料に基づき、第124回日本解剖学会総会・全国学術集会アンケート集計結果について報告があった。

(4) 第125回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第125回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について報告があった。シンポジウムについては、ここ数年、類似した内容のシンポジウムが続いていることから、プログラム委員会企画シンポジウムとして20セッション設け、一般公募シンポジウムは5セッションを予定している。他に、解剖学会委員会指定シンポジウムを7セッション予定。公募シンポジウムは7月締め切りで公募し、8月19日から10月18日で一般演題抄録の募集をおこなう予定である。また参加費等の支払を郵便振替ではなく、オンライン決済でおこなうことが提案され、125回大会で試行的にオンライン決済を導入してもらったこととした。シンポジウムに若手研究者のプログラムが入るようにしてほしいことと、臨床解剖なども増えているので、臨床領域にもアピールできるような企画があると良いのではとの意見が出された。

(5) 2023(令和5)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2023(令和5)年度総会・全国学術集会開催校募集を開始することが報告された。

(6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会 第5回研究倫理教育研修会(2019年5月30日開催 大塚 ASI編集委員長、大内 倫理・利益相反委員長出席)の報告があった。第124回全国学術集会で開催した生理学会との合同シンポジウム「内耳蝸牛・聴覚伝導路における音信号伝達・処理メカニズムの形態学的・生理学的基盤」について、日本医学会連合へ提出する日本医学会連合「加盟学会連携フォーラム」実施報告書の内容が説明された。

(7) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、生物科学学会連合第19回定例会議(2019年4月2日 野田 常務理事出席)の内容が報告された。今年度の重点計画のうち「研究費・人材育成に関する意見書のためのアンケート調査・検討」に解剖学会が参画することとなった。

(8) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本脳科学関連学会連合第9回評議員会(2019年5月18日 野田 常務理事、西 常務理事出席)について報告があった。

(9) 若手研究者の会について

資料に基づき、若手研究者の会について報告があった。若手研究者の会には40名の参加希望があり、交流シンポジウム班、教育研究キャリア班、若手総会・懇親会班を構成した。8月24日～25日に名古屋邦和セミナープラザで若手研究者の会主催の夏の学校を開催する。

- (10) その他
特になし。

4. 会計報告

(1) 令和元年度中間決算書について

資料に基づき、平成31年度4月次決算報告書（平成31年1月1日～4月30日）について、ほぼ例年通りの推移であることが報告された。また、次の名簿作成は2021年ころを予定し、名簿作成ワーキンググループを立ち上げることが確認された。

(2) アウトリーチ委員会より（広告料アンケート調査、ホームページ再構築）

資料に基づき、アウトリーチ委員会から以下2点の報告があった。①学会ホームページの広告掲載料について関連企業へのアンケートを実施したい。②「解剖学者の語る人体の世界」（日本解剖学会編、風人社、1996年刊）をホームページに掲載する可能性について。①については実施してもらうこととした。②については、書籍自体を紹介するのは良いが、20年以上前の本なので、より新しい素材の掲載がよいのではという意見が常務理事から出された。

- (3) その他
特になし。

5. 理事長報告

(1) IFAAについて

資料に基づき、IFAAとの関係について、過去の経緯が説明され、今後の対応を検討することとした。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、2019年3月1日から4月30日に入会申請があった一般会員6名、学生会員8名について審議され、全員の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任に伴う以下の1名の代議員申請者について審議し、承認された。
高橋 和男 先生（藤田医科大学・医学部・解剖Ⅱ・教授 2019年5月1日就任）

3. 休会申請について

資料に基づき、1件の出産・育児による休会申請、2件の留学による休会申請の説明があり、審議の結果すべて承認された。

4. 第124回全国学術集会時の委員会メモへの対応について

資料に基づき、以下の第124回全国学術集会時の委員会メモへの対応について審議された。

1) 解剖体委員会関係

2018年度に実施したサージカルトレーニングの実施状況調査については、集計後に学会ホームページに掲載する。次回は2023年を目処に実施する。

2017年に会員に通知した感染症対策の調査結果のとりまとめについては、確認後学会ホームページに掲載する。

次回の「系統解剖準備室および系統解剖学実習室の作業環境測定結果とホルムアルデヒド曝露低減策に関するアンケート」は次年度に実施する。

技術職員関連問題のアンケート調査結果の取りまとめを行う。

2) 倫理委員会関係

次回の役員改選に合わせて倫理委員会・利益相反委員会を、倫理委員会と利益相反委員会に分けることが承認された。

3) ASI編集委員会関係

解剖学会の代議員に新たになった方をEditorial ManagerのReviewerリストに加えていただくようにしてはどうかとの提案、またReviewerの著者に対してのCOIをチェックする項目がEditorial Managerにあると良いとの提案があり、いずれもその方向で進めることとなった。

5. 第125回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について

資料に基づき、第125回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査をおこなった。申請があったのは、解剖体委員会、学術委員会（2件）、男女共同参画推進委員会からであり、審議の結果いずれも助成が承認された。このうち解剖体委員会からの申請については、外科学会との合同シンポジウムとして、

日本医学会連合「加盟学会連携フォーラム」に申請する方向で検討することとした。

6. 技術職員に関するアンケート対応について（企画渉外）
資料に基づき、技術職員関連問題に関するアンケート対応について審議した。未提出の大学からの回答を待って、寺田 前常務理事に引き続き取りまとめをお願いすることとした。
7. 9thAPICAについて
資料に基づき、9thAPICAの日本開催について審議し、第127回全国学術集会開催時に9thAPICAを日本で併催する方向で進めることとした。
8. 理学療法士学会からの依頼に対する対応について
資料に基づき、理学療法士学会からの、理学療法士養成課程における解剖学教育の在り方に関する検討会についての依頼に対して、解剖学会からの回答文案について審議した。
9. 常任幹事1名追加について
常任幹事1名追加について、引き続き検討することとした。
10. その他
次回常務理事会 9月14日（土）13:00-16:00@口腔保健協会302会議室